

取組実践：同中学校区小学校3校合同でのネットモラル啓発活動

- ◇大分市立坂ノ市小学校（児童数903名 35学級）
- ◇大分市立小佐井小学校（児童数458名 20学級）
- ◇大分市立丹生小学校（児童数263名 12学級）

地域とともにある学校づくり(観点Ⅳ)

【取組のポイント】

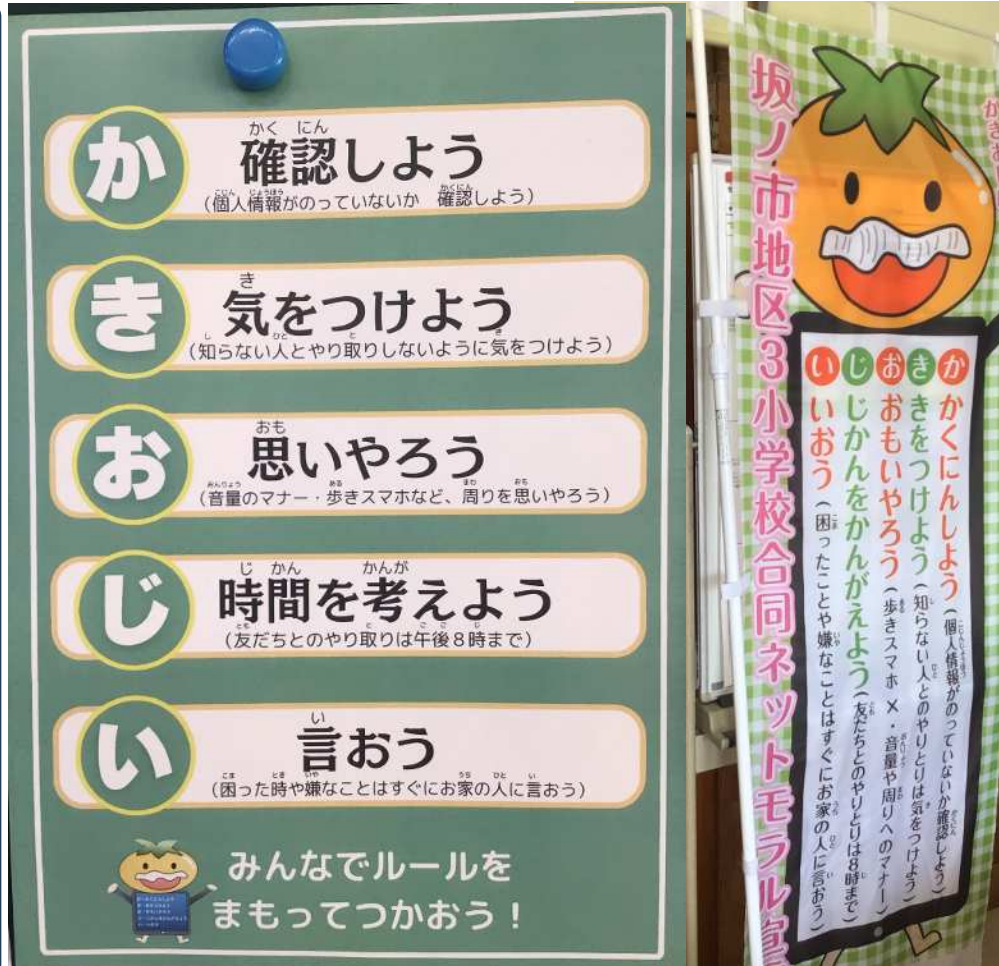
- 同中学校区小学校3校の児童会代表者による遠隔会議の開催
- 校区青少年健全育成協議会、地区青少年健全育成協議会との連携
- 家庭への啓発

【成果】

- 児童会を中心とした子どもの主体的な取組につながっている
- 「かきおじい」が子ども・家庭・地域に浸透しており、スクリーンタイムの減少、SNSトラブルの減少、生活リズムの安定等に成果が見られる。

**《取組1》
遠隔会議の開催
(児童)**

坂ノ市中学校区の小学校3校の児童会代表者による遠隔会議を開催。
3校に共通する課題のひとつであるネットモラル向上のため、3校合同で取り組むことができるネットモラル宣言「かきおじい」を策定。
「かきおじい」のキャラクターや絵描き歌の作成等、児童会の主体的な取組も進められている。



**《取組2》
青少協との連携（地域）**

青少協が作成した「かきおじい」ののぼりを活用し、子ども・家庭への啓発や共通理解及び地域への発信や共通理解を推進している。
現在では「かきおじい」のキャラクターと取組内容が着実に浸透している。

**《取組3》
各家庭へのステッカー配布
(家庭)**

青少協が作成した「かきおじい」のステッカーを各家庭に配布し、子どもだけではなく保護者への啓発や共通理解に努めている。
現在では「かきおじい」のキャラクターと取組内容が着実に浸透している。